

尾道市立小中学校事務職員研究協議会

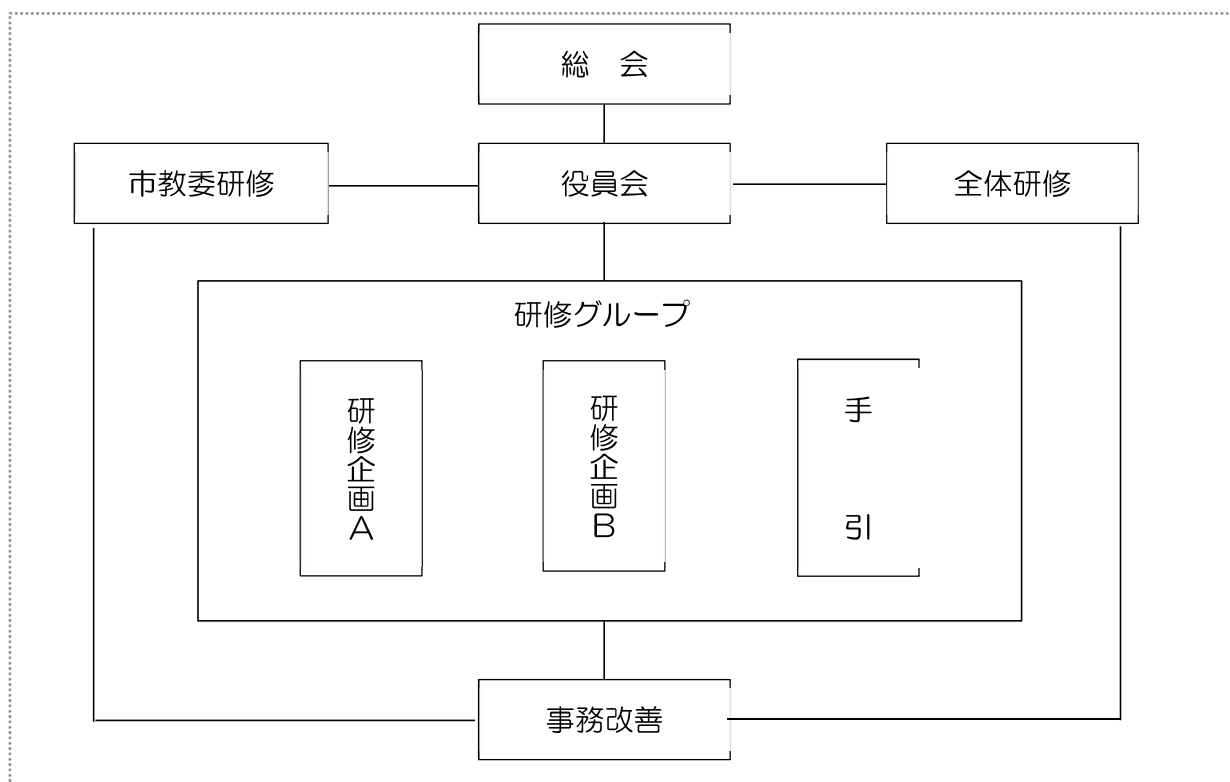
1 研究テーマ

一人ひとりが高まりみんなで高め合う学校事務の創造
～互いの協働と専門性を追求し、豊かな教育を推進するために～

2 研究の具体目標

教育及び学校事務に関する諸問題について研究・協議するとともに、互いに研鑽し、自らの資質・能力の向上を図る。

3 研究・研修組織



- 【研修企画 A グループ】 Chrome book の操作方法に関する研修等 ICT に関する研修
- 【研修企画 B グループ】 事例を持ち寄った研修や講師を招聘して全体研修の企画・運営
- 【手引きグループ】 学校事務の手引きの見直し・改訂
- 【事務改善グループ】 学校事務における改善点について協議

4 研究内容

研修会は年9回実施し、内容は尾道市教育委員会の指導講話、各グループに分かれてグループ別研修を行っている。外部講師を招聘する等の全体研修を定期的に各グループで企画運営し下記のとおり実施した。

7月 尾道市で起こる災害を想定して（尾道市総務課生活安全係）

9月 Chrome book の使い方・Google フォームでアンケート作成（研修企画 A グループ）

10月 年金制度の概要について（公立学校共済組合 広島支部 長期給付係）

2月 事務手引について（手引グループ）

府中市事務職員研究協議会

令和6年度の活動

研究テーマ

豊かな教育を創造する学校事務を推進する

- 1 研究経過
- | | |
|-----|---------|
| 4月 | 研修計画の立案 |
| 8月 | 研修 |
| 12月 | 研修・まとめ |

2 実践の具体例

(1) 役立つフォルダの運用について

- ・役立つフォルダの更新についてミライムでお知らせすることに変更した。

(2) 令和7年度県事研提案に向けて

① 指導講話「学校経営参画について」

講師 広島県教育委員会管理部教職員課 小中学校人事係 係長 園山 和志様

- ・「わたしの強み」・「メンバーの強み」について交流を行い、「自分の強みを活かして学校のためにできることをする」「少し背伸びした目標を立てる」ことが、学校経営参画において第1歩に繋がると分かった。また、実践・振り返り・次の目標を立てて取り組むことを繰り返し行うことが必要であると学んだ。その後、経営者・管理職・メンバーの各立場においてどのような行動をとればよいかの交流を行った。学校経営目標を各立場において理解を深め行動していくことが重要である。

② Canva 研修

講師 ICT 支援員 平野 宏美様

- ・県事研提案発表において、興味を引く・記憶に残るものにするため、Canva を用いたプレゼン資料作成方法を学んだ。Canva を使用したことがない事務職員が多くいる中、基本的な Canva の知識から応用まで幅広く学ぶことができた。

③ 論文形式集録原稿について確認・意見交流

指導・助言者 府中学園 校長 渡部 光昭様

- ・集録原稿を論文形式で作成するにあたり、論文の基本的な構成・書き方について学んだ。
- ・集録原稿内の図についての考察を、グループごとに交流を行った。

3 今後の課題（成果と課題）

- ・事務職員の学校経営参画について、何ができるのか、広島県教育委員会による指導講話をはじめ、県内の事務職員からの意見をもとに、府中市学校事務部会としての見解を話し合うことができた。
- ・年度内に集録原稿を完成させることを目標に活動を進めていく。図グラフの形式について変更する案が多く出ていたため、後日改めて各グループで連携を行い、考察を行う。
- ・来年度の発表本番に向け Canva を用いたプレゼン資料の作成や、読み原稿の作成にも取り掛かっていく。

世羅郡小中学校事務職員研究協議会

令和6年度活動報告

1 研究テーマ 「学校教育目標を達成し、子どもの育ちを支援する学校事務を」

2 研究の概要

(1) 第1回 5月23日

総会、活動計画の立案

(2) 第2回 9月19日

授業見学（中学校3年英語科）、ICT研修（情報交換）、共同事務室交流

(3) 第3回 12月12日

就学援助事務研修（講師 世羅町教育委員会学校教育課）

「出産・育児に関する手引き」加除について協議、共同事務室交流

(4) 第4回 1月30日

「出産・育児に関する手引き」加除、年間のまとめ、共同事務室交流

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ① 授業見学を通して、ICTを活用した教育への理解を深めることができた。また、情報交換を通して、今後よりよい学習環境を整備していくための参考にすることができた。
- ② 就学援助事務研修において、申請手続きの流れや留意点等を学ぶことができた。また、年間を通しての就学援助事務に関する各校の状況と、事務処理をより確実かつ円滑に行ううえでの要望を教育委員会に伝えることができた。
- ③ 共同事務室交流において、互いの運営の様子やこれまで取り扱った事例について情報共有を行うことで、自らの共同事務室の取組における工夫・改善への参考とすることができた。
- ④ 「出産・育児に関する手引き」について、条例等の改正があった箇所や様式を変更する等、加除を行い更新した。条例等の改正時や参考となる事例がある時は適宜加除を行い、円滑な事務処理及び該当職員への情報提供や説明に活用していきたい。

(2) 課題及び継続して取り組むこと

- ① 講師を招聘した研修を計画し、専門的な知識の習得に努める。
- ② 人材育成を図るため、経験年数や要望に考慮した研修内容を計画する。
- ③ 学校経営目標の実現に向けた予算要求・予算執行や教職員の支援に継続して取り組む。
- ④ 業務改善に向け、共同事務室間や関係機関との連携に継続的に取り組む。
- ⑤ 共同事務室交流は、実施内容について精査しつつ引き続き行いたい。
- ⑥ 「出産・育児に関する手引き」の加除は継続したい。